

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第34週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が16,757例あり、先週(19,975例)の約0.8倍となった。2022年の累積報告数は158,696例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

□ 全数報告の感染症 (34週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：E型肝炎1例。5類感染症：アメーバ赤痢1例、梅毒7例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	70歳代	女	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	小林	5~9歳	男	—	腹痛、水様性下痢、O26(VT1) ※日南保健所集団感染事例関連
4類	E型肝炎	延岡	60歳代	男	—	全身倦怠感
5類	アメーバ赤痢	日南	40歳代	男	腸管アメーバ症	下痢、粘血便
		宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	20歳代		女	無症状病原体保有者	なし	
	20歳代		男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹	
	20歳代		男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結	
	30歳代		女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、びらん性胃炎	
	50歳代		男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結	
	都城	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は263人(定点当たり7.3)で、前週比114%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

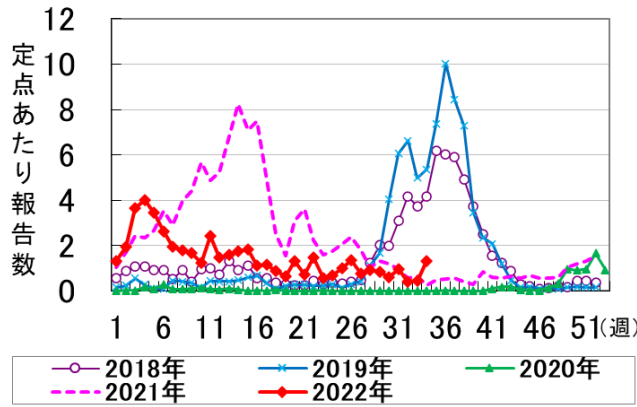
報告数は47人(1.3)で、前週比294%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約0.5倍であった。高鍋(3.8)、小林、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約9割を占めた。

【手足口病】

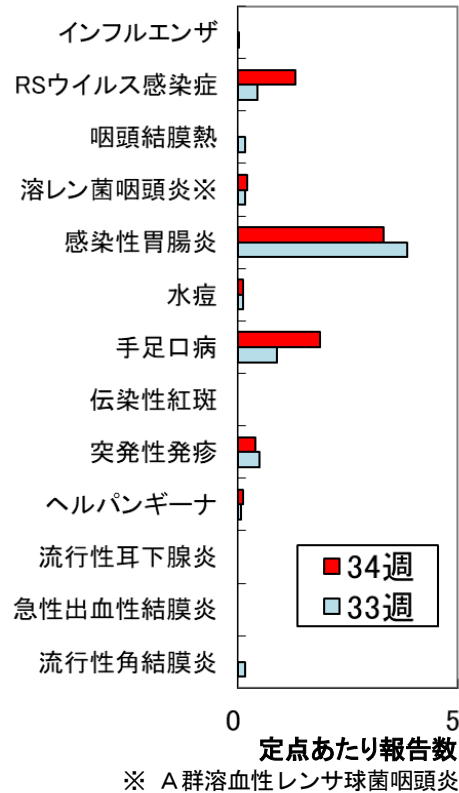
報告数は67人(1.9)で、前週比209%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約1.1倍であった。中央(5.0)、宮崎市(3.3)、日南(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

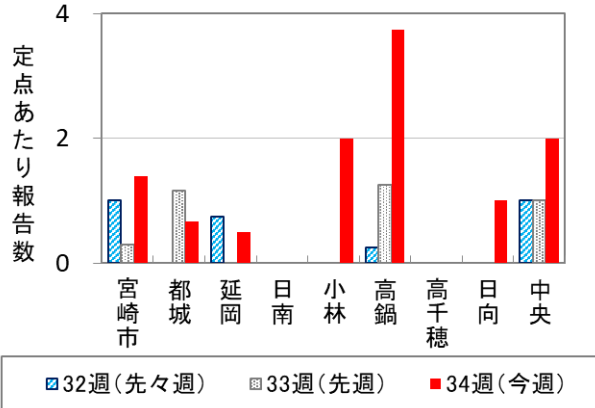
RSウイルス感染症 発生状況



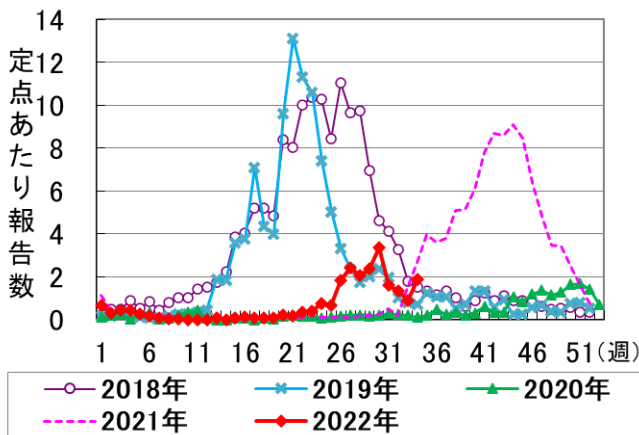
《前週との比較》



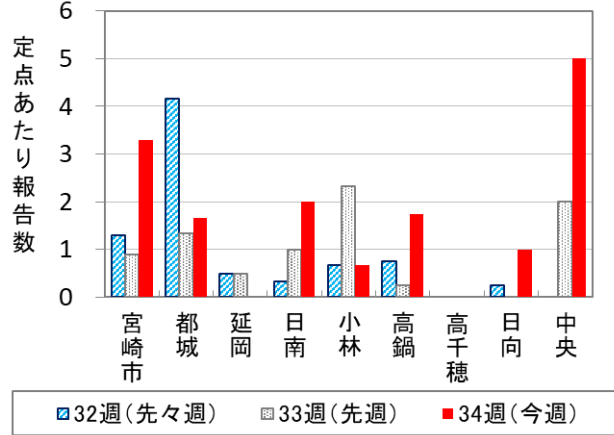
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

流行警報レベル開始基準値
 ・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年8月29日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトヘルペスウイルス7	10歳代	男	2022.06.09	麻疹疑い、37.3℃、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2022.08.17
ヒトパレコウイルス3型	0～4歳	男	2022.06.16	乳児早期発熱、39.5℃、発疹(紅斑)	便 咽頭ぬぐい液 髄液	2022.08.17
ヒトパレコウイルス3型	0～4歳	男	2022.06.20	乳児早期発熱、38.9℃、発疹(丘疹、紅斑)	咽頭ぬぐい液	2022.08.17

🇯🇵 全国 2022 年第 33 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	203 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	124 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	日本紅斑熱	7 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	34 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	14 例
	水痘(入院例)	1 例	梅毒	149 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	3 例	百日咳	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 97%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は4,049人(1.3)で前週比82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)と同程度であった。三重県(4.1)、奈良県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では3歳以下が全体の約9割を占めた。

手足口病の報告数は8,396人(2.7)で前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約1.1倍であった。宮城県(7.1)、北海道(7.0)、山形県、新潟県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第34週(08月22日～08月28日)

疾病名		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点当り	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	16	47	14	4	2		6	15		4	2
	定点当り	0.44	1.31	1.40	0.67	0.50	0.00	2.00	3.75	0.00	1.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	6										
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	6	8	2			3		2			1
	定点当り	0.17	0.22	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	139	119	24	26	6	8	20	8		20	7
	定点当り	3.86	3.31	2.40	4.33	1.50	2.67	6.67	2.00	0.00	5.00	7.00
水痘	報告数	4	4	3				1				
	定点当り	0.11	0.11	0.30	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	32	67	33	10		6	2	7		4	5
	定点当り	0.89	1.86	3.30	1.67	0.00	2.00	0.67	1.75	0.00	1.00	5.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	14	5	4	1			3		1	
	定点当り	0.50	0.39	0.50	0.67	0.25	0.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	4	1	1		1				1	
	定点当り	0.08	0.11	0.10	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～34週)

2類感染症	結核	77例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	36例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例(1)	重症熱性血小板減少症候群	8例
	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例(1)	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	57例(7)
	破傷風	4例	百日咳	11例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	158696例(16757)		

()内は今週届出分、再掲